



地球温暖化と省エネの関係

地球温暖化の原因は温室効果ガス

地球は、太陽からの放射熱が海や陸に届くことによって暖められています。そして暖められた地球からも熱が宇宙に放出されます。この放出される熱の一部を吸収し、地表から熱を逃がさないようにしているのが、二酸化炭素(CO₂)やメタン、フロンなどの温室効果ガスです。

温室効果ガスがないと、太陽熱が全て宇宙に逃げてしまうため、地球の平均気温が-19℃まで下がってしまうと考えられています。温室効果ガスは地球を暖かく保つ役割を果たし、生物が住みやすい環境を作るのにはなくてはならないものです。

しかし、産業革命以降の化石燃料の使用により、地中に埋まっていた



炭素を燃やしてCO₂として大気中に排出したり、森林を伐採し続けたりしたことによって、温室効果ガスが必要以上に増加しています。温室効果ガスが増加すると、宇宙に逃げるはずの熱が放出されず地表に留まり、地球温暖化といわれる気温の上昇や、雨量の増加等の異常気象が増えます。

過去100年で津市の平均気温は1.7℃上昇しているばかりか、自然災害につながる可能性のある400mm以上の降水の発生日数も増加傾向にあります。このように、私たちの生活に影響を及ぼすことから、主な温室効果ガスであるCO₂の排出量を実質ゼロ※にしようとする取り組み「脱炭素」が求められています。

※実質ゼロ…排出量と吸収量を均衡させること

いま、地球温暖化対策として省エネが必要です！

省エネが求められる理由は2つあります。1つ目は、地球温暖化防止のためです。日本では電力の70%以上を火力発電に依存していることから、節電によって温室効果ガスの大部分を占めるCO₂の排出量を削減することができます。

2つ目は、エネルギーの安定供給のためです。世界の石油の採掘可能年数には限りがある一方、エネルギー需要は世界規模で急増しており、国際エネルギー機関(IEA)では、2050年までに電力需要は現在

より80~150%高くなると予想しています。

限りある資源を効率的に使用するためには、私たち一人一人が省エネに取り組むことが重要です。冬は1年間で最も電気を消費する季節ですが、暖房費が占める割合が大きいためこそ、暖め方の工夫次第で節電できる時期でもあります。例えば上着を羽織って防寒するなど、できることから取り組んでみましょう。



省エネはエコな上にお得！

省エネは地球にやさしいだけでなく、電気料金の節約にもなります。冬の1日における家電製品の電力消費割合は、1位…エアコン(32.7%)、2位…冷蔵庫(14.9%)、3位…照明(9.3%)です。下の表の例を参考に、省エネ行動に取り組んでみましょう！

その他の省エネ行動について詳しくは、経済産業省資源エネルギー庁ホームページ「省エネポータルサイト」をご確認ください。



省エネ
ポータルサイト

機 器	省エネ行動の例	省エネ量(年間)	CO ₂ 削減量(年間)	節約金額(年間)
エアコン	設定温度を20℃にする ※外気温度6℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間9時間/日)	53.08kWh	25.9kg	1,650円
冷蔵庫	物を詰め込みすぎない ※詰め込んだ状態から半分にした場合	43.84kWh	21.4kg	1,360円
照明	電球形LEDランプに取り換える ※白熱電球(54W)から電球形LEDランプ(7.5W)に交換した場合(使用時間2,000時間/年)	93kWh	39.9kg	2,883円